

トライ！生駒こども読書会議

1. 目的

生駒市子ども読書推進計画（平成17年）に基づき、子どもの読書環境の向上にむけて第一線の現場で取り組む人々の悩みや課題を共有し、具体的な解決策を相互に出し合い、今後の目標と具体的な推進策や連携方法を見出し、子どもの読書推進を図ることを目的としています。

2. 活動の概要

幼・保・こども園関係者、学校関係者、市役所関係者、ボランティア関係者、図書館関係者・団体など、子どもと子どもの読書に関わって活動している人々が年3回程度集結し、「トライ！生駒こども読書会議」を開催しています。

3. これまでの活動

平成17年度に発足した学識経験者や学校関係者、PTA関係者、教育委員会事務局、図書館関係者、読書活動ボランティアで構成する「子ども読書活動実践会議」から、平成24年「子ども読書



活動推進連絡調整会議」へと引き継がれ、令和元年度末に計3期15年のこども読書推進活動を締めくくりました。その後、令和元年度に実施した「トライ！生駒子ども読書3.0会議」を経て、子どもの読書環境の向上に尽力している人たちの力を集結した現在の「トライ！生駒こども読書会議」に引き継がれました。

令和2年度から5カ年の共通の目標として「家読（うちどく）にトライ！」を掲げています。この会議を通して様々な取り組みが始まり、「リレーうちどく」や「おためし読書」・「園への定期的な出張図書館」などの事例発表も行い、参加者同士の情報共有や意見交換をしました。また、会議の前後では勉強会や講演会を開催し、様々な角度から子どもの読書についての知見を広めました。講演会の一部を紹介します。

- | | |
|------------|--|
| 2022年8月5日 | 「楽しいビブリオバトルとは」 大阪工業大学知的財産学部教授 水野五郎氏 |
| 2023年8月3日 | 「最適な道具で学ぼう！これから読書を考えよう！～読み書きメディアの認知科学～」 群馬大学情報学部教授 柴田博仁氏 |
| 2023年11月2日 | 「ヒトが育ち、学ぶということーPostコロナ社会に生きる次世代人類に向けて」 京都大学大学院教育学研究科教授 明和政子氏 |
| 2024年3月7日 | 「電子書籍を考える 子どもの読書を中心に」 専修大学文学部ジャーナリズム学科教授 野口武悟氏 |
| 2024年8月1日 | 「詩が開いた心の扉 ~奈良少年刑務所 絵本と詩の教室~」 作家 寮美千子氏 |

それぞれの活動の1つ1つは小さくても、この会議を通して新しいつながりが生まれ、さらに新しい活動へと発展し、本市における子どもの読書環境の向上へつながり、実を結ぶ信じて活動しています。

4. 子どもの本を楽しむ会

(1) 目的

「家読（うちどく）にトライ！」の推進のため、子どもの本について知る機会をつくり、参加者同士が共に学びあうことを目的として令和2年度から実施しています。

(2) 活動の概要

2クラスに分かれて各クラス月1回、持ち寄った本を紹介したり、感想や意見交換などを行います。子どもの本に関する活動をしている方、子どもの本について学びたい方、本選びの参考にしたい方など、広く様々な方にご参加いただいています。

Aクラス：赤ちゃん向けから幼年読み物が対象

Bクラス：幼年読み物から高校生が対象

(3) これまでの活動

現在は隔月でテーマに沿った本と新刊本を紹介しあっています。

過去のテーマ例

Aクラス：ワクワクする本、日本のロングセラーなど

Bクラス：夏/夏休みに読みたい本、卒業生へ紹介したい本など

新たに本を知ることができることはもちろんですが、新しい発見や知識を得ることができたり、様々な感想や意見を聞くことができたりと、参加者同士の垣根なく、楽しく学びあっています。

